

《単位互換提供科目詳細（シラバス）》

* 科目 No. 2901

科目概要記入欄

1. 開設大学	島根県立大学		開催 方法	☐対面 ()	
				■オンライン (同時)・録画・資料提示	
				☐その他 ()	
2. 正式科目名 副題	文学			配当年次	1・2・3・4
				受入学年	
学問分野	番号	11	名称	文化・文学	
3. 担当教員名	渡部 望				
4. 単位数	2単位	5. 開講学期	前期		
6. 開講期間 曜日・時間	2023年4月4日(金)～2023年7月21日(金) 曜日 9:00～10:30				
7. 基礎知識の有無	・「基礎知識を必要としない科目」				
8. 募集人数	人	9. 選考方法			

10. 科目内容・授業計画	<p>本授業では、近現代の小説をテキストとし、初歩的な文学理論の学修を通じて小説技法に関する理解を深めるとともに、読みの実践を通じて文学作品が内包する歴史性、政治性、地域性といった多元性について学修する。実践性を重要視するために、受講生にはグループワークや発表の機会を多く与える。本授業の履修を通して、考え、傾聴し、発信する力を涵養することができる。</p> <p>岩波文庫の『東京百年物語』第3巻から、6つの短編小説を読みます。これは明治から昭和の「東京」を舞台として描かれた3巻本の短編小説アンソロジーの最終巻に当たり、1940年代から1960年代に発表された16の作品で構成されています。授業では、その中から以下の6編を読みます。</p> <p>太宰治「東京八景」 壺井栄「鷺宮二丁目」 梅崎春生「飢えの季節」 三島由紀夫「橋づくし」 内田百閒「アジンコート」 遠藤周作「札の辻」</p> <p>この授業の狙いは、「文学作品をおもしろく読む」秘訣のようなものを身につけていただくことです。実際に小説を読みながら、自然と面白く読むコツをつかんでもらうように授業をデザインしています。これまで小説に親しむことが少なかった人も歓迎します。</p> <p>【授業の進め方】 ひとつの作品を2回の授業で読んでいきます。 最初の授業では、作者の紹介と作品を解説するための解説を講義形式で行います。最後に翌週の「課題」をお伝えします。 次の授業では、「課題」を出発点として、皆さんとの間で作品理解や解釈を巡る対話を進めながら授業をおこないます。対話に参加した方には「授業参加点」を差し上げます。皆さんにはTeamsの双方向機能を活用して積極的な授業参加を求めます。</p> <p>【到達目標】 短編小説の面白さを発見する感性を持つ。 面白さを論理的に説明する分析技法を身につける。</p> <p>第1回 イン트로ダクション：授業の進め方 第2回 短編小説を読む秘訣 第3回 太宰治「東京八景」1 第4回 太宰治「東京八景」2 第5回 壺井栄「鷺宮二丁目」 第6回 壺井栄「鷺宮二丁目」 第7回 梅崎春生「飢えの季節」1 第8回 梅崎春生「飢えの季節」2 第9回 三島由紀夫「橋づくし」1 第10回 三島由紀夫「橋づくし」2 第11回 内田百閒「アジンコート」1 第12回 内田百閒「アジンコート」2 第13回 遠藤周作「札の辻」1 第14回 遠藤周作「札の辻」2 第15回 レポートの書き方</p>		
11. 試験・評価方法	<p>「出席点」はありませんが、出席日数が10回に満たない受講生は評価対象外とします。出席は「出席シート」提出によって確認します。 学期末には4,000字程度のレポートを書いていただきます。 成績評価は「授業参加点」と、学期末レポートの評価点を合算しておこないます。</p>		
12. 別途負担費用	<p>ロバート・キャンベル他編『東京百年物語』3（岩波文庫） 第3回目の授業までには入手しておいてください。</p>		
13. その他特記事項	<p>授業はTeamsによる同時双方向にて実施します。</p>		
14. 社会人受講	<p>科目等履修生（単位付与）として受け入れ</p>	可	<input type="checkbox"/>
	<p>聴講生（単位認定不要）として受け入れ</p>	可	<input type="checkbox"/>

※コロナ禍の影響により、対面授業はオンライン（同時・録画・資料）へ変更になる場合があります。